

会津若松市

保 健 福 祉
ハ ン ド ブ ッ ク

（保健福祉手帳版）

令和2年4月改訂版
会津若松市役所障がい者支援課

もくじ

<手帳>

- 精神保健福祉手帳・・・・・・1

<料金などの割引>

- タクシー運賃の割合・・・・・・2
- 国内航空運賃の割引・・・・・・2
- 旅客鉄道運賃の割引・・・・・・2
- バス運賃の割引・・・・・・2
- 外出支援事業・・・・・・3
- NHK放送受信料の減免・・・・・・3
- 携帯電話基本使用料の割引・・・3
- 施設利用料等の減免・・・・・・4

<税金の控除・減免>

- 所得税・住民税の障害者控除・・・5
- 相続税・贈与税の障害者控除・・・5
- 自動車税（種別割）等の減免・・・6

<年金・手当等>

- 障害年金・・・・・・7
- 心身障害者扶養共済制度・・・・・・7
- 特別児童扶養手当・・・・・・8
- 障害児福祉手当・・・・・・9
- 特別障害者手当・・・・・・10

<医療>

- 重度心身障がい者医療費助成・・・11
- 高額療養費・限度額適用認定証・・・12
- 後期高齢者医療・・・・・・13
- 自立支援医療・・・・・・13

<障がい福祉サービス等>

- 住まいの場で介護や支援を受けたい方・・・14
- 通所して日常生活の支援を受けたい方・・・14
- 通所して就労に関する支援を受けたい方・・・14
- 外出時の支援を受けたい方・・・14
- 支援付きの住まいで生活したい方・・・14
- 介護を支援するサービス・・・・・・14
- 余暇活動支援センター「ふらっと」・・・15

<その他>

- 訪問給食サービス・・・・・・15
- 緊急通報システム・・・・・・15
- 成年後見制度利用促進補助事業・・・16
- おもいやり駐車場・・・・・・16
- ボランティアの派遣・・・・・・16

はじめに

このハンドブックは、障がいをお持ちの方が受けることのできる福祉サービスや制度の内容などについて、概要を説明したものです。

利用される方の事情によって、受けられるサービス内容等が異なる場合があります。各種サービスや制度等の利用を希望される方は、各項目の問い合わせ先にご相談ください。

また、制度改正等により記載内容が一部変更になる場合がありますので、ご了承ください。

精神保健福祉手帳

内 容	<p>手帳の交付を受けた方に対し、各種の支援を受けやすくし、また、精神障がい者の社会復帰と社会参加への促進と自立を図ることを目的とした手帳です。</p> <p>※有効期限があるため、2年ごとに更新が必要です。</p>
対 象 者	<p>精神障がいのために、長期にわたり日常生活または社会生活への制限がある方</p>
申 請 に 必 要 な も の	<p>①精神障がいによる障害年金を受けている方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金証書 ・直近の年金通知書（お持ちの方のみ） ・印鑑 ・写真（たて4cm×横3cm、1年以内に撮影したもの）※正面・脱帽 <p>②障害年金を受けていない方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいに係る初診日から6ヶ月を経過した日以後における診断書（指定様式あり） ・印鑑 ・写真（たて4cm×横3cm、1年以内に撮影したもの）※正面・脱帽 <p>※ ①②共通に必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の個人番号のわかるもの（個人番号カード又は通知カード） ・申請手続き者の身分を証明するもの（免許証や身体障害者手帳など、写真の貼ってあるものは1、健康保険証や年金手帳などは2以上） ・申請者の印鑑
そ の 他 の 手 続 き	<p>○手帳の更新</p> <p>手帳の有効期限前に行う更新手続きです。（※3ヶ月前から申請可能です。）有効期限が過ぎると各助成制度を利用できなくなりますのでご注意ください。（必要なもの）・上記①または②と同じです。</p> <p>○手帳の再交付</p> <p>手帳の紛失や破損または障がい程度に変更が生じたときに行う手続きです。（必要なもの）・印鑑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真（たて4cm×横3cm、1年以内に撮影したもの） <p style="text-align: right;">※正面・脱帽</p> <p>○居住地等の変更</p> <p>居住地を変更したとき（転入・転居）、または氏名に変更が生じたときに行う手続きです。（必要なもの）・印鑑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉手帳 <p>○手帳の返還</p> <p>障がい者の方が亡くなられたり、手帳が不要になったときに行う手続きです。（必要なもの）・印鑑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉手帳（※紛失した場合は不要）
窓 口	<p>障がい者支援課</p>

タクシー運賃の割引

内 容	タクシー会社によって運賃割引の有無が異なります。割引の有無、割引率等は各タクシー会社のホームページを確認するか、直接お問合せください。
対 象 者	精神保健福祉手帳所持者等
手 続 き	手帳を運転手さんに提示してください。(割引するタクシー会社のみ)

国内航空運賃の割引

内 容	国内航空を利用する場合、航空会社によって運賃の一部が割り引きになります。対象者とその年齢、割引の可否、割引率等については、各航空会社により異なるため、ご確認願います。
対 象 者	精神保健福祉手帳所持者等
手 続 き	航空券を購入する際に、窓口到手帳を提示してください。

旅客鉄道運賃の割引

内 容	会津鉄道の乗車券が次のように割り引きになります。
対 象 と なる 範 囲	・ 1 級⇒本人・介護者ともに半額 (※手帳に写真が添付されている方のみ) ・ 2 級、3 級⇒本人のみ半額 (※手帳に写真が添付されている方のみ)
手 続 き	乗車券を購入する際に、窓口到手帳を提示してください。 ※会津若松駅から乗車し会津鉄道を利用する場合は、会津若松駅～西若松駅までの JR 乗車券を定額で購入し、車内で、西若松駅から目的駅までの会津鉄道乗車券を購入してください。会津鉄道車掌に手帳を提示すると半額で購入することができます。

バス運賃の割引

内 容	県内のバス会社のバス運賃が次のように割り引きになります。 ※高速バスは各バス会社により割引の有無、手帳に写真貼付されていることなどの要件が異なるため、バス会社のホームページを確認するか、直接お問合せください。
対 象 と なる 範 囲	等級に関係なく、本人・付添者ともに半額
手 続 き	バス運賃を支払う際に手帳を提示してください。(割引するバス会社のみ)

外出支援事業

内容	対象者に、市が指定する交通機関（各タクシー会社・会津バス・会津鉄道）で利用できる1枚100円の助成券を、要件により月に8枚又は40枚を申請のあった月から翌年3月までの月数に応じて交付します。 1回の乗車での利用上限は15枚（1,500円分）です。
対象者と要件	○100円券を月8枚交付する方 精神保健福祉手帳の1級所持者 ○100円券を月40枚交付する方 精神保健福祉手帳所持者で、常時車いす使用と認められた者 ○その他の要件 ・自動車税若しくは軽自動車税の減免を受けている方は助成を受けることが出来ません。（※廃車・譲渡等で自動車を処分したときは、助成を受けられる場合があります。） ・福祉施設等に入所されている方は月40枚交付のみ申請することが出来ます。
必要なもの	・印鑑 ・精神保健福祉手帳 ・自動車を処分したことを証明する資料（※自動車税または軽自動車税の減免を受けていた方のみ）
窓口	・障がい者支援課・北会津支所(住民福祉課)・河東支所(住民福祉課) ※支所に申請書を提出された場合は、後日、助成券を郵送します。

NHK放送受信料の減免

内容及び対象者	半額免除 ・精神保健福祉手帳1級をお持ちの方が世帯主である場合 全額免除 ・精神保健福祉手帳保持者が世帯構成員であり、世帯全員が市民税（住民税）非課税である場合 ※同一住所で世帯分離の場合は、同一世帯とみなします。
必要なもの	・印鑑 ・精神保健福祉手帳
窓口	障がい者支援課

携帯電話基本使用料の割引

内容	精神保健福祉手帳を持っている方が契約している携帯電話について、基本使用料が割引になります。
対象者	精神保健福祉手帳を持っている方
窓口	各電話取扱店

市内の施設利用料等減免

内 容	障がい者手帳所持者が個人として利用する際、または障がい者団体等として利用する際、使用料等が一部減免となります。		
対 象 者 と 申 請 方 法	<p><団体> あらかじめ障がい者支援課にて、障がい者団体等として登録されている団体。障がい者支援課にて事前の手続きが必要です。なお、各施設により別途登録等の手続きが必要になる場合がありますので、お問合せください。</p> <p><個人> 障がい者手帳をお持ちのご本人。手帳を利用施設の受付等に提示してください。なお、各施設により事前の手続きが必要になる場合がありますので、お問合せください。</p> <p>※対象施設の減免利用に際しては、それぞれの施設の使用規定等及び係員の指示に従ってください。</p>		
対 象 施 設	NO	施設名称	備 考
	1	鶴ヶ城公園運動施設	
	2	会津総合運動公園運動施設	
	3	門田緑地運動施設	
	4	市民ふれあいスポーツ広場	
	5	小松原多目的運動場	
	6	河東総合体育館 等	
	7	コミュニティプール	
	8	文化センター 展示室兼会議室 等	
	9	會津風雅堂 会議室 等	
	10	会津能楽堂 研修室	
	11	御薬園 ※観覧料	団体 利用は対象外
	12	御薬園 御茶屋御殿 等 ※観覧料相当額を含む	個人 利用は対象外
	13	生涯学習総合センター（多目的ホール・市民ギャラリー）	
	14	生涯学習総合センター 駐車場	団体 利用は対象外
	15	各公民館	個人 利用は対象外
	16	ピカリンホール 大ホール 等	
	17	八田地区交流センター ホール 等	
	18	会津町方伝承館	
	19	基幹集落センター	
	20	北会津農村環境改善センター	
21	河東農村環境改善センター		

所得税・住民税の障害者控除

内容及び 対象者	対象者		所得税 (所得控除)	住民税 (所得控除)
	特別 障害者	精神障害者保健福祉手帳 1級	40万円	30万円
	普通 障害者	精神障害者保健福祉手帳 2～3級	27万円	26万円
窓 口	※配偶者または扶養親族が同居の特別障害者である場合には、配偶者控除額または扶養控除額に、所得税については35万円、住民税については23万円が加算されます。 確定申告の場合・・・税務署（27-4311） 源泉徴収の場合・・・会社の給与担当			

相続税・贈与税の障害者控除

内容及び 対象者	相続税対象者		控除額
	特別 障害者	精神障害者保健福祉手帳 1級	(85歳-現年齢) × 20万円
	普通 障害者	精神障害者保健福祉手帳 2～3級	(85歳-現年齢) × 10万円
	贈与税対象者 『特定障害者扶養信託契約』 信託業務を営む銀行に信託した時、6,000万円（特別障害者以外の方は、3,000万円）まで非課税となります。		
窓 口	会津若松税務署（27-4311）		

自動車税（種別割）・軽自動車税（種別割）・環境性能割（旧自動車取得税）の割引

障がいのある方のために使用される自動車で、一定の要件に当てはまるものについては納税義務者の申請により自動車税（種別割）・軽自動車税（種別割）及び環境性能割（旧自動車取得税）を全額減免しています。その要件、手続きは次のとおりです。

障害区分	減免の対象となる範囲
	障がい者の方と生計を一にする方又は常時介護する方が運転する場合
精神障害者保健福祉手帳	1級 ※ <u>自立支援医療(精神通院医療)支給決定を受けている方に限ります</u>

1、自動車税（種別割）、環境性能割〔窓口：県税事務所（29-5261）〕

● 精神保健福祉手帳をお持ちの方本人が運転する場合

- ①精神保健福祉手帳・自立支援医療受給者証(精神通院)
- ②自動車検査証（※4月1日時点で、精神保健福祉手帳をお持ちの方又はその方と生計を一にする方が所有者であること）
- ③運転免許証（運転するご本人のもの）
- ④印鑑（運転する方のもの）

● 精神保健福祉手帳をお持ちの方本人が運転しない場合

上記①から④に加え、以下証明書の A 又は B が必要です。詳しくは、障がい者支援課にご確認ください。

A『生計同一証明書』→ 障がい者の方と生計を一にする方が運転する場合

B『常時介護証明書』→ 住所は別だが三親等内の親族である運転者が、障がい者の方を乗せて週三日程度運転を継続的に行っている場合（ただし、同居者に運転者がいない世帯と認められる場合に限る）

● 自動車買い替えによる申請の場合

前課税免除車の移転(抹消)の自動車車検証の写し

- ◎ 精神保健福祉手帳の交付時にその年度の自動車税（種別割）を納付しており、年度の途中で新たに減免要件に該当となった場合は、申請日の翌月以降の月数に応じ減免が受けられますので、お問い合わせください。

2、軽自動車税（種別割）〔窓口：税務課（39-1222）〕

- ①精神保健福祉手帳・自立支援医療受給者証(精神通院)
- ②自動車車検証
- ③運転免許証（運転する方のもの）
- ④マイナンバーの分かるもの（障がい者ご本人のもの）
- ⑤印鑑（運転する方のもの）

（注）障がい者の方と生計を一にする方又は常時介護する方が運転する場合

⇒障がい者ご本人の印鑑も必要です。

※18歳未満の身体障害者手帳所持者が申請される場合は、運転者（または自動車の所持者）の印鑑のみで結構です。

◎ 注意 ◎

軽自動車税（種別割）の減免申請期間は、納税通知書発行後（5月初旬）から納付期限の7日前までです。

※自動車の名義変更はこちらにお問い合わせ下さい。会津自動車会館 TEL 27-0210

障害基礎年金・障害厚生年金

内 容	<p><障害基礎年金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳になる前に病気やケガにより障がいを受け、障がい程度が年金の等級に該当する場合は、20歳以降の申請で年金の支給対象となります。 ・国民年金の被保険者期間中に病気やケガの初診日があり、障がい程度が年金の等級に該当し、かつ納付要件を満たす場合には、年金の支給対象となります。ただし、原則65歳到達前に申請が必要です。 <p><障害厚生年金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生年金または共済年金の被保険者期間中に病気やケガの傷病の初診日があり、障がい程度が年金の等級に該当し、かつ納付要件を満たす場合は、年金の支給対象となります。ただし、原則65歳到達前に申請が必要です。 <p>※手帳と年金の等級は異なります。</p>
窓 口	<p>問い合わせ（申請）先</p> <p>障害基礎年金：国保年金課（本庁舎1階／39-1249）</p> <p>障害厚生年金：会津若松年金事務所（追手町5-16／27-5321）</p> <p>※年金事務所での相談は、あらかじめ電話予約が必要です。</p> <p>予約専用電話：0570-05-4890（希望日の1カ月前から予約可）</p>

心身障害者扶養共済制度

内 容	<p>障がい者の保護者が、生存中に一定の掛金を納付することで、その保護者が死亡した（重度障がいを受けた）場合に、残された障がい者に年金を支給します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛金月額：一口9,300円～23,300円（加入時年齢による） ・支給年金：月額20,000円（一口加入者の場合） <p>※低所得者の方に対する掛金の一部助成制度があります。</p>
対 象 者	<p>精神に永続的な障がいのある方を介護する、65歳未満の保護者。</p>
窓 口	<p>障がい者支援課</p>

特別児童扶養手当

内 容	精神に障がいのある児童を監護又は養育している方に支給されます。
対 象 者	身体又は精神に、中度または重度の障がいを有する 20 歳未満の児童を監護している父もしくは母、又は父母にかわって児童を養育している方。
対 象 の 障 害	<p>○ 1 級該当者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳 1 級、2 級及び 3 級の一部の児童 ・療育手帳 A をお持ちの児童 ・同程度の障害のある児童（診断書が必要） <p>○ 2 級該当者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳 3 級及び 4 級の一部の児童 ・療育手帳 B 程度をお持ちの児童（診断書が必要） ・同程度の障害のある児童（診断書が必要） <p>※ 以下の場合を除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受給資格者及びその扶養義務者などの所得が、限度額以上ある場合 ・手当を受けようとする方、対象となる児童が日本に住所を有しない場合 ・児童が肢体不自由児施設や知的障害児施設などの施設に入所している場合 ・児童が障がいを理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合 <p>※手当認定の可否については、福島県が審査した結果に基づき決定されます。</p>
手 当 額	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級該当者…月額 52,500 円 ・ 2 級該当者…月額 34,970 円 <p>※受給資格者が手当の請求をした月の翌月から支給対象になります。</p> <p>8 月（4～7 月分）・11 月（8～11 月分）・4 月（12～3 月分）として年 3 回、4 ヶ月分が、指定の口座にまとめて支払われます。</p> <p>支払日は 11 日で、金融機関の休みに当たる場合はその直前の休みでない日になります。</p>
申請に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別児童扶養手当認定請求書（こども家庭課に用意してあります） ・ 特別児童扶養手当振込先口座申出書（同上） ・ 診断書（同上） ・ 請求者と対象児童の戸籍謄本または抄本 ・ 請求者と対象児童が同居する世帯全員の住民票 ・ 請求者名義の通帳 ・ 身体障害者手帳または療育手帳（お持ちの方のみ） ・ 印鑑 ・ 申請にあたって個人番号が必要で、確認書類等も必要になります。窓口にご確認ください。
窓 口	<p>こども家庭課（39-1243）</p> <p>北会津支所（住民福祉課）</p> <p>河東支所（住民福祉課）</p>

障害児福祉手当

内 容	著しく重度の障がいのある在宅の障がい児に、その障がいのために生ずる特別な負担の軽減を図る一助として支給されます。
対 象 者	20歳未満の方で、精神または身体に著しく重度の障がいがあるために、日常生活において常時特別の介護を必要とする児童が対象となります。
対 象 の 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身体障害者手帳1級程度の児童（診断書が必要） ○ 療育手帳A（最重度）程度の児童（診断書が必要） ○ 同程度の精神障害のある児童（診断書が必要） <p>※ 以下の場合を除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支給資格者及びその扶養義務者などの所得が、限度額以上ある場合 ・ 手当を受けようとする人、対象となる児童が日本に住所を有しない場合 ・ 児童が肢体不自由児施設や知的障害児施設などの施設に入所している場合 ・ 児童が障がいを理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合
手 当 額	<p>一人につき月額14,880円です。</p> <p>支給資格者が手当の請求をした月の翌月から支給対象になります。</p> <p>支払期月と支払日</p> <p>2、5、8、11月に、それぞれ前月までの3ヶ月分が指定の銀行等の口座に、まとめて支払われます。支払日は、10日です。金融機関の休みに当たる場合はその直前の休みでない日になります。</p>
申請に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別障害者手当認定請求書（こども家庭課に用意してあります） ・ 口座振替依頼書（同上） ・ 診断書（同上） ・ 請求者名義の通帳 ・ 身体障害者手帳または療育手帳（お持ちの方のみ） ・ 印鑑 ・ 申請にあたって個人番号が必要で、確認書類等も必要になります。窓口にご確認ください。
窓 口	<p>こども家庭課（23-4545）</p> <p>北会津支所（住民福祉課）</p> <p>河東支所（住民福祉課）</p>

特別障害者手当

内 容	著しく重度の障がいのある在宅の障がい者に、その障がいのために生ずる特別な負担の軽減を図る一助として支給されます。
対 象 者	<p>20歳以上の方で、精神または身体に著しく重度の障がいがあるために、日常生活において常時特別の介護を必要とする方が対象となります。</p> <p>※ 以下の場合を除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給資格者及びその扶養義務者などの所得が、限度額以上ある場合 ・ 手当を受けようとする人が日本に住所を有しない場合 ・ 身体障害者療護施設、知的障害者更生施設、養護老人ホームなどに入所されている方 ・ 3ヶ月を超えて入院されている方
手 当 額	<p>一人につき月額27,350円です。</p> <p>受給資格者が手当の請求をした月の翌月から支給対象になります。</p> <p>支払期月と支払日 2、5、8、11月に、それぞれ前月までの3ヶ月分が指定の銀行等の口座に、まとめて支払われます。支払日は、10日です。金融機関の休みに当たる場合はその直前の休みでない日になります。</p>
申請に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別障害者手当認定請求書（障がい者支援課に用意してあります） ・ 口座振替依頼書（同上） ・ 診断書（同上） ・ 受給者名義の通帳 ・ 身体障害者手帳または療育手帳（お持ちであれば） ・ 印鑑 ・ 申請者本人、配偶者及び扶養義務者のマイナンバーがわかる書類（個人番号カードなど） ・ 申請に来られた方の身元確認ができる証明書等（運転免許証など）
窓 口	障がい者支援課、北会津支所（住民福祉課）、河東支所（住民福祉課）

重度心身障がい者医療費助成

内 容	医療費の健康保険適用における自己負担金について助成します。
対 象 者	① 精神保健福祉手帳 1 級を所持する方 ② 精神保健福祉手帳 2・3 級と療育手帳 B を重複して所持する方 ③ 精神保健福祉手帳 2・3 級と身体障害者手帳を重複して所持する方 ※ 生活保護を受けている方は除きます。
助 成 額	6 5 歳未満 医療費の 3 割（上限額：加入している健康保険の自己負担限度額） 6 5 歳以上 医療費の 1 割（上限額：後期高齢者医療保険の自己負担限度額） ※ <u>6 5 歳以上で後期高齢者医療保険に未加入の方は、自己負担額が生じる場合があります。</u> 等級により、後期高齢者医療保険に加入できない場合もあります。 「後期高齢者医療保険」については P 1 3 参照 ※精神科入院の際の医療費は対象外です。 ※室料の差額、文書料、レンタル料、入院中の食事代、予防接種等は対象外です。
登録申請に必要なもの	・健康保険証 ・振込先の通帳（本人名義のもの） ・印鑑 ・マイナンバーが確認できる書類（本人・配偶者・扶養義務者） ・窓口に来庁する方の身分証明証
現 物 助 成 方 法	・「現物」と記載された受給者証を持っている方は、原則、福島県内の医療機関の窓口での医療費のお支払いが不要です。 ・医療機関の窓口にて受診のたびに、受給者証と健康保険証を提示してください。 ※窓口でお支払いがあった場合は、下記の償還の項目に従い、申請してください。 ※市の国民健康保険加入者で、透析治療の方又は一つの医療機関（病院と薬局別）でひと月の自己負担額が 21,000 円以上の場合、各医療機関の窓口へ「国民健康保険高額療養費支給申請書」の提出が毎月必要になります。
償 還 助成額が支払われるまで	○「償還」と記載された受給者証を持っている方、医療機関での支払いが生じた方 ・医療機関（病院と薬局）の窓口にて医療費を支払い、後から登録口座に振り込みます。 ・医療機関の窓口にて受診のたびに、受給者証と健康保険証を提示してください。 (1) 受診した医療機関（病院と薬局）に、自己負担金額を支払い、重度心身障がい者医療費助成申請書を提出して必要事項を記載して貰います。 (2) 重度心身障がい者医療費助成申請書を市に提出してください。 ※市外の医療機関の場合は、領収書を添付して市に申請してください。 (3) 約 4 カ月後、市が助成決定通知書を送付します。登録銀行口座に振り込みます。（毎月 20 日前後）
注 意 点	※ <u>住所・健康保険証・氏名・口座等が変わった場合は、市役所の窓口届け出が必要です。</u> 変更届の提出がない場合、医療機関等の窓口でのお支払いが必要になります。 ※本制度は、他に対象となる制度を受給し、最終的に自己負担額となる医療費を対

	<p>象として助成します。<u>自立支援（精神通院・更生医療）等の対象となる方は、その制度を優先して利用していただく必要がありますので、手続きを必ず行ってください。</u></p> <p><u>※特定疾病療養受領証や自立支援医療受給者証等をお持ちの方は、必ず医療機関（病院と薬局）の窓口での提示をお願いします。</u></p> <p>※重度医療で助成された医療費は、確定申告で医療費控除の申請はできません。</p>
窓 口	<p>障がい者支援課</p> <p>北会津支所（住民福祉課）・河東支所（住民福祉課）</p> <p>各市民センター（重度心身障がい者医療費助成申請書の受付のみ）</p>

高額療養費・限度額適用認定証

内 容	<p>医療費の自己負担額を軽減する健康保険制度です。</p> <p><高額療養費></p> <p>医療機関の窓口で高額な一部負担金を支払ったときに、自己負担限度額を超えた分について、健康保険から払い戻しを受けることができます。</p> <p><u>※1. ご自身でお手続きをする必要があります。</u></p> <p>※2. 自己負担限度額は、世帯の所得、年齢などによって定められていますので、各自加入保険者へご確認ください。</p> <p><限度額適用認定証></p> <p>医療機関を受診する際、被保険者証と一緒に「限度額適用認定証」を提示することにより、医療機関別の1か月の窓口負担が自己負担限度額までとなります。</p> <p>（※保険薬局、指定訪問看護事業者についても同様）</p> <p>（例1）窓口負担が10万円、自己負担限度額が7万円の場合、高額療養費を申請すると、後日健康保険から3万円が返還されます。</p> <p>（例2）上記のケースで限度額適用認定証を医療機関に提示した場合、窓口負担は7万円となります。</p> <p>※住民税が非課税の世帯は、食事代が減額になることもあります。</p>
対 象 者	健康保険加入者（被扶養者）
申 請 に 必 要 な も の	病院・薬局の領収書、保険証、印鑑、マイナンバーを確認できる書類等 （詳細は、加入している健康保険の窓口へお問い合わせください）
手 続 き 先	<p>加入している健康保険の窓口</p> <p>※国民健康保険・後期高齢者医療保険は国保年金課 39-1244</p>

後期高齢者医療

内 容	高齢者の医療の確保に関する法律による医療制度のもと、申請により後期高齢者医療に加入することができます。原則として医療費自己負担額が1割となります（高額所得認定者のみ自己負担額3割）。
対 象 者	満65歳以上75歳未満で、精神保健福祉手帳1・2級の方
申請に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉手帳 ・ 健康保険証 ・ 印鑑 ・ 委任状（代理申請の場合、任意の様式のもの） ・ 申請にあたってマイナンバーが確認できる書類等も必要になります。窓口にご確認ください。
窓 口	国保年金課（市役所本庁1階 39-1244）

自立支援医療

内 容	精神科に通院している方の医療費の負担を軽減する制度です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の保険診療の場合 ⇒ 自己負担3割 ・ 自立支援医療を申請した場合 ⇒ 自己負担1割 ご家庭の収入等により月額上限額が設けられます。
対 象 者	精神の疾病のために、精神科に継続した定期的な通院を必要とする方
申請に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断書（通院先の医療機関で作成してもらってください。有料になります。） ・ 保険証・印鑑・年金の額がわかる書類または通帳（年金を受給している方のみ） ・ 本人及び同一保険の被加入者の個人番号がわかるもの（個人番号カード又は通知カード） ・ 申請手続き者の身分を証明するもの。（免許証や身体障害者手帳など、写真の貼ってあるものは1、健康保険証や年金手帳などは2以上） ・ 代理人の申請の場合、上記に加え、委任状など、代理権を確認できるもの及び印鑑 ・ 転入された方は、前住所地の所得、控除、課税額のわかる証明書（マイナンバーの提示により省略可）
そ の 他	1年ごとの更新が必要であり、2年目の更新には診断書が必要です。精神科に通院した場合の医療費に限ります。
窓 口	障がい者支援課 北会津支所（住民福祉課） 河東支所（住民福祉課）

【障がい福祉サービス】

障がい福祉サービスは、障がいのある方が希望する場所で生活できるようにすることを目的に、ヘルパーが自宅を訪問して行う支援や、事業所に通所して支援を受ける等のサービスがあります。サービスの利用を希望する場合は、障がい者支援課に相談してください。

住まいの場で介護や支援を受けたい方

内 容	ヘルパーが自宅を訪問し、食事や掃除などを支援する家事援助と、着替えや入浴などの身体の介護を行うサービスがあります。
名 称	居宅介護、重度訪問介護、訪問入浴サービス、自立生活援助など

通所して日常生活の支援を受けたい方

内 容	施設での食事や入浴・排泄などの介助のほか、日中活動を行う場を提供するサービス、社会との交流などを支援するサービスがあります。
名 称	生活介護、自立訓練、地域活動支援センターなど

通所して就労に関する支援を受けたい方

内 容	一般企業等で働くことを目指す方への支援から作業の場の提供まで、障がいの特性に応じて就労に関する様々な支援を行います。
名 称	就労移行支援、就労継続支援（A型、B型）、就労定着支援など

外出時の支援を受けたい方

内 容	外出時に必要となる移動に関するサービスがあります。
名 称	重度訪問介護、同行援護、行動援護、ガイドヘルパー派遣など

支援付きの住まいで生活したい方

内 容	施設に入所して支援を受けるサービス、グループホームに入居して支援を受けながら少人数で共同生活するなどのサービスがあります。
名 称	施設入所支援、共同生活援助（グループホーム）、療養介護など

介護者を支援するサービス

内 容	施設等において障がいのある方の一時的な受け入れを行い、介護者の就労やレスパイト（休息）を支援します。
名 称	短期入所、タイムケアなど

※サービスの受給は原則 18 歳～65 歳です。

※世帯の所得に応じて利用料が発生する場合があります。

※サービスによっては障害支援区分や「計画相談支援」の利用が必要な場合があります。

※詳しいサービス内容や手続きに必要なものについては、お問い合わせください。

【余暇活動支援】

余暇活動支援センター「ふらっと」

内 容	障がいのある方が参加しやすいイベントを開催しています。気軽に訪れることができる仲間作りの場として余暇活動充実のお手伝いをします。
連 絡 先	中町 1-23 (野口英世青春広場) 電話・FAX29-2149 開所時間/正午～午後 5:00 定休日/毎週月曜日、木曜日

【その他】

訪問給食サービス

内 容	在宅の一人暮らし等の障がい者の方に弁当を宅配します。 1日2食(昼・夕) 月～土曜日 (1週間の配達食数は、利用者の方の希望により決定できます。) 普通食以外、かゆ食・きざみ食・おかずのみ等希望できます。
対 象 者	身体障害者手帳所持者等で、調理や買い物が困難な方 ※65歳以上の方は、身体障害者手帳は要件ではありません。
費 用	1食 350円(おかずのみの場合 1食 300円)
窓 口	65歳未満の方・・・障がい者支援課 65歳以上の方・・・高齢福祉課(39-1291)

緊急通報システム

内 容	高齢者等が家庭内で急病、事故等の緊急事態に陥った時に、貸与を受けた緊急通報装置を用いて緊急センターに通報し、当該高齢者等の救助、援助を行います。
対 象 者	① おおむね 65歳以上のひとり暮らしの高齢者 ② ひとり暮らしの重度身体障がい者等 ③ おおむね 65歳以上の寝たきり高齢者等を抱える高齢者のみの世帯
費 用	住民税の課税状況により、費用負担があります。
手 続 き	① 指定の申請書に記入してください。 ② 生活状況その他必要事項を調査の上、利用の可否を決定し通知します。 ③ 緊急通報システム設置は、後日事業者より取付等の工事日の連絡が入ります。
窓 口	65歳未満の方・・・障がい者支援課 65歳以上の方・・・高齢福祉課(39-1291)

成年後見制度利用促進補助事業

内 容	成年後見制度の利用に要する費用について、補助を受けなければ同制度の利用が困難であると認められる障がい者等に対し、予算の範囲内において補助金の交付等を行います。
対 象 者	市の区域内に住所を有する障がい者（申請の日において65歳未満であって、生活保護の支給を受けている者に限る。）
補 助 額	予算の範囲内において補助金の交付等を行います。
手 続 き	電話等でご連絡ください。詳細をご案内します。
窓 口	障がい者支援課

おもいやり駐車場

内 容	スーパーマーケットや公共施設などに設置してある「障がい者等用駐車場」を適正に利用していただくため、福島県内で共通の利用証を交付し、利用者が利用証を掲示することで、利用できる方を明らかにする制度です。
対 象 者	精神保健福祉手帳（1級）をお持ちの方
利用 できる 駐 車 場	福島県内の障がい者等用駐車場で「おもいやり駐車場」の表示がある駐車場 ※福島県以外でも、福島県の利用証を利用できる県があります。
申 請 に 必 要 な も の	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県おもいやり駐車場利用証交付申請書 ・身体障害者手帳 ・代理の方が申請される場合は、身分証明書（運転免許証等） ※市に申請又は郵便で申請する場合は、下記も合わせてご準備ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・120円切手 ・返信用封筒（角2封筒）
窓 口	会津保健福祉事務所保健福祉課（29-5272） 会津若松市役所障がい者支援課
利 用 証 の 交 付 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・会津保健福祉事務所に申請の場合は、窓口で即日交付 ・会津若松市役所に申請の場合は、郵送で交付

ボランティアの派遣

内 容	障がい者世帯、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯にボランティアの派遣を行っています。
対 象 者	障がい者世帯、一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯
費 用	無料（一部、入場料等は依頼者本人負担。ボランティアの交通費等も負担有。）
窓 口	カムカムボランティアセンター（33-5622） 会津若松市社会福祉協議会（28-4030）